

〔国際会議発表〕

発表研究者	東京農工大学 生物システム応用科学府 特任助教 松倉 悠	2042118
参加会議	IEEE Sensors 2014	
出張期間	2014年10月30日～11月8日	
開催場所	バレンシア スペイン	
発表論文	Olfactory Search Behavior of Human Wearing Olfactory Assist Mask 嗅覚アシストマスクを装着した人間の嗅覚探索行動	

概要：

今回参加した IEEE Sensors 2014 は、フィジカルセンサからケミカルセンサ、バイオセンサまでセンサ工学に関する幅広い内容をカバーしている。他のセンサ工学関連の国際会議とは異なり、デバイス製作だけでなくセンサネットワークやセンサ応用システムに関する研究発表も多いのが特徴である。センサ工学分野の第一線で活躍する研究者や技術者に自身の研究を広く伝え、各種センサに関する最新の研究動向を収集することを目的とし、IEEE Sensors に参加した。

今回は、報告者が開発した嗅覚アシストマスクに関して、ポスター発表を行った。嗅覚アシストマスクとは、人間の鼻では検出できない希薄な匂いをガスセンサで検出し、その匂いの濃度を数値として表示する代わりに、人間にも明確に感じられる強さの別の匂いを提示して使用者に知らせる装置である。希薄な匂いが漂ってきた際に、嗅覚アシストマスクを装着して周囲を歩き回ると、場所による匂い強度の変化を、実際にその匂いを嗅いでいるように確かめることが可能になる。今回の発表では、嗅覚アシストマスクを装着した被験者が希薄な匂いを辿って匂い源まで辿り着くことが可能であることを確かめた実験の結果を報告した。

匂いセンシングシステムの研究開発を行っている研究者達が他にも国際会議に参加していたが、本研究に興味を示してもらい、実験の方法や条件設定等に関し、今後の研究を進める上で重要な議論を行うことができた。また、今回の国際会議発表の直前に訪問したマラガ大学の Javier González 教授のグループとは、今後も連絡を取り合って互いに協力して研究を行う運びとなった。